

山弱公愚

題字 愚公移山 揮毫 宇和島市城東中教諭 河野 理恵 解説は3面



発行所
④(公財)愛媛県教育会
〒790-8545
松山市祝谷町1丁目5-33
エスポワール愛媛文教会館内
電話 (089) 945-8644
FAX (089) 945-1459
E-mail info@ehime-kyouikukai.jp

- (2) 学校紹介 新居浜 北中学校
- (3) 地区教育会だより(西宇和)
- (4)(5) 特集 本とわたし
- (6) 九十九歳・八十歳慶祝者
- (7) 教育会会員による学習支援②
- (8) ふるさとスケッチ

共生社会の形成と合理的配慮



愛媛大学教育学部教授
花熊 暁

少子高齢化や人口減など、日本の社会は大きな変化の時期を迎えています。そのことを背景として、いま国家的な課題とされているのが共生社会の形成です。

共生社会とは、障がい者を始め、これまで十分に社会参加できる環境になかった人たちが積極的に参加・貢献できる社会のことであり、誰もが相互に人格と個性を尊重しあい、人々の多様な在り方を認め合える全員参加型社会のことです。

この共生社会の実現に向けて、学校教育の世界では、①インクルーシブ教育システムの構築、②そのための特別支援教育の充実、③障がいのある児童生徒への合理的配慮の実

践、の三つが求められています。③の「合理的配慮」については「今一つ分らない、何をしたらよいのか」という声をよく耳にします。「合理的配慮」については考え、行う上で大切なことは次の三点です。

一つは、「合理的配慮」障がいのある人への配慮ではないという点です。どのような人も、自分の力だけで社会生活を送っている訳ではありません。たとえば、大人数の集会では、拡声器がなければ、耳の聴こえる人でも話者の話を聞き取ることはできません。この場合、拡声器を使うことが参加者への「合理的配慮」であり、日常私たちがそうした配慮サービスを受

受しています。問題は、そうした配慮サービスが、障がいのない人を基準に制度設計されていて、障がいのある人がその恩恵を受けられない状態にあったことです(社会的障壁の存在)。

つまり、「障がいへの合理的配慮」とは、「障がいのある人への配慮」という以上に、「誰もが、社会参加に必要な配慮サービスを受けられるようにすること」(「共生社会の実現」を意味している)です。

二つ目は、「合理的配慮は、その人が潜在的に持つ力を発揮できるようにするためのもの」という点。そして、三つ目は、「配慮が、当事者のニーズに基づいたものでなければならぬ」という点です。そこを誤解すると、いわゆる「不要・不適切な配慮」に陥ってしまう危険があります。

以上三つのポイントを押さえた上で合理的配慮を実践し、誰もが参加でき、誰もが尊重される社会を作りたいものです。

一略 歴(はななくま さとる)

- ・兵庫県尼崎市出身
- ・大阪教育大学大学院教育学研究科 修了
- ・昭和59年 愛媛大学教育学部に赴任(現在に至る)
- ・平成23年、26年教育学部附属特別支援学校長を兼務
- ・専門 特別支援教育

聞響

時候の挨拶で「○の秋」という言葉をよく使う。学校にあつては、さしずめ「スポーツの秋」であらう▼秋の季語で

もある運動会は、この時期を代表する学校行事である。運動会は一八七四年三月二十一日、東京築地の海軍兵学寮で開催されたことが発祥であると言われている。それから百四十余年、現在の運動会は健康安全・体育的行事に位置付けられ、学習指導要領にはそのねらいの一つに、「責任感や連帯感の涵養などに資するような活動を行うこと」と記されている▼ところで、昔の運動会と比べて種目も大分変わってきた。練習時間不足と事故防止が理由として挙げられるが、何か大切なことを忘れてはいないだろうか。今の子どもたちの現状を考えたとき、一つのことには皆で取り組む中で、意見の衝突や挫折を経験し、やり遂げる喜びや大変さを体得すると共に、互いの個性を発見し受容するという点で運動会の果たす役割は大きいと思う▼運動会が単なる年中行事にならぬよう、目的を再考してさらに充実したものになってほしい。

ひとこと

地域の一員として



公立長会 事務局長 高須賀 清
前愛媛県立
小中学校
会

地域の役員として、町内会や自主防災会のお世話をするようになりました。

先日、自主防災に関係した研修会で、「普段、何気なく交わっている近所の方との挨拶も立派な自主防災になります。」とのお話を伺いました。

いざという時に共に助け合えるようにするためにも、隣近所の方々と挨拶を交わしたり、地域の集まりに積極的に参加したりして、地域の皆さんの顔と名前を覚えるといったことから始めればよいという内容でした。

例えば、地域の行事に参加しても、挨拶をする人や、話しかける人が決まっています。

また、役員として、ごみス

テーションなどで「おはようございます。」と挨拶を交わして顔は知っているけれど、名前や家の場所までは分からない方も多くいます。そして、社会的な状況からか、こちらからの挨拶に対し、不安や警戒心を抱かれていると感じることもあります。

地域においては、挨拶を行うことへの恥ずかしさや戸惑いとともに、近隣への関心の低さや人間関係の希薄さがあり、役員でもなければ、日常的に挨拶をすることはあまりないように思います。

しかし、初めのうちは、声を掛けても挨拶を返してもらえなかった人も多くいましたが、何度か繰り返すことにより、よって応えてくれるようになりました。

今後は、いろいろな機会を捉えて、積極的に挨拶をしていくことや、挨拶から始まるコミュニケーションを大切にしていこうと、地域での関わりを深めていきたいと思っています。

(松山市立生石小学校)

副参事事務局長

学校紹介

No.162

新居浜市立北中学校

学習意欲を高めるために

～小中連携を通して～

新居浜市は、昨年度から県の「学力向上システム構築事業モデル市」の指定を受け、本校はその中核校として、校区にある宮西小学校・新居浜小学校と連携し、学力向上を目指して研究を進めている。

校区は、交通の便に恵まれており、歓楽街を含む商店街や、市の中心的な施設が多い。保護者の教育への関心は高く、PTA活動にも熱心で協力的である。生徒は、明るく社交性に富み、挨拶をはじめ活動的に物事に取り組んでいる。

学力向上の視点としては、中学校区の三校で統一したブランドデザインを念頭に、小学校からの学習規律を中学校でも継続・定着させることを大切にしている。そのため、学習のユニバーサルデザインを意識した授業づくりやICT機器等によって視覚化を展開していくことに重点を置いている。

学習課題や本時の目標を授業の始まりに提示し、授業の流れを示すことによって、生徒からは「時系列の流れがあり、授業で何をするのか分かりやすくなった」という意見が多く聞かれるようになった。見通しをもつて学習できる環境を設定することも教師の役割である。授業終末には、振り返りを行い、目標が達成できているかなどを確認することが、学習活動をより活発にし「分かる」ことにつながっていくのである。

また、「読むこと」「書くこと」を中心に言語活動の充実を図っている。自分の考えの根拠を簡潔に書き、自分の言葉で述べることは簡単なことではないが、思考力・判断力・表現力の向上につながる。条件をもとに話し合ったり、小集団で活動したりするなど、意図的にその場面を作り出す工夫も必要である。各教科ではそれらの取組指標を具体的に話し合い、実行している。



夏休みには、小中連携三校合同研修会が開かれ、各部会(学級部会・学習部会・個別支援部会)で取組を共有し意識統一することができた。小中連携の取組は、九年間の学習のつながりも大切であろう。各学力調査や年二回実施しているQ-U調査、生徒指導の「個票」などの引継ぎや分析を活用し、本校の生徒像である『まじめに元気に根気よく』、生徒の学習意欲を高めるための研究を続けていきたい。

(教諭 矢野恵里香)

題字に寄せて

愚公移山



宇和島市城東中 教諭 河野 理恵

「愚公移山」とは、大きなことでも根気強く努力し続ければ成功するということ... 愚公といふ老人の家の前に二つの大きな山があり、どこに行くにも迂回しなければ行けなかった。不便なので山を切り崩し、平らにしようとしたときに嘲笑するものもいたが、何代にもわたってやればできると山を崩し始めた。愚公の熱意を感じた天帝が二つの山を移したという故事である。

地区教育会だより

西宇和教育会

西・宇和・よいとこ・ファン・エー・！

西宇和教育会

会長 三浦 芳郎

「西・宇和・よいとこ・ファン・エー・！」。この言葉は、自然豊かで、純朴・人情味あふれた西宇和にあつて、歓迎会等の懇親会において、乾杯で発声する先輩から受け継いできた西宇和教育ならではの言葉であり、西宇和教育の原点でもある。少子化が進み、学校統合が避けられず会員数の減少に寂しい思いをする中で、地域に根ざし、連携をとりながら各事業を推進している。

その一つに、退職・現職会員が一堂に会しての「教育を語る会」がある。四十六名も



「教育を語る会」…《ファンエー！》

指導をしながら対局する姿や大先輩に挑んで熱戦する姿が印象的であった。「料理教室」でも、退職・現職会員が、しかも男性会員も混じつての「おやつ作り」は手際がよく、四品ものおやつができあがった。



「カルチャー教室」…白熱の対局

の参加があつて、当然『ファン・エー・！』から始まり、教育会現状を語り合いながら懇親を深める年一度の事業で盛大に、有意義に終わることができた。

最後に参加者全員で試食しながら和やかな懇談で、『西・宇和・よいとこ』を実感した一日であった。

ローカルトピックス

伊予万歳考

溝辺騒動

湯山中学校近くの「溝辺ふれあいセンター」では、毎月三回、「伊予万歳溝辺椿会」の練習が行われている。このセンターで伝承している「溝辺騒動」を知っている人はどのくらいいるだろうか。

天保三年四月、亀太郎は、いとこの新衛門と溝辺倉敷で芝居を見物する。新衛門が、前の娘に「後ろの人が見えにくいから日傘をのけてくれ。」と言ったところ、傍らの侍(娘の父親)が「無礼なことを。」と言ひ、けんかが始まる。亀太郎は仲裁に入ったのだが、誤って一刀を受ける。かばってくれる世話役があり、数日間逃亡するも、結局は侍たちに斬り殺されてしまう。その無念さを表した演目である。

月掛金 21,600円で (35歳・女性の場合の掛金です)

教職員共済生協の 終身共済なら、【月払型】

死亡・高度障害保障 1000万円！ 60歳時の解約金 約679万円

* 掛金のお支払いは60歳まで。掛金はご契約時のまま変わりません。

万一の保障と退職後の生活資金の両方が準備できる共済です！

資料請求は電話またはインターネットにて、お気軽にご連絡ください。

教職員共済生活協同組合 愛媛県事業所

〒790-8545 松山市祝谷町1-5-33 11F 11-1 愛媛文教会館3F TEL 089-998-2141 http://www.kyousyokuin.or.jp/



ていきたいと思つている。(参照「湯山誌稿」) (文教月報編集協力委員 日野 弘子)

特集 本とわたし

本屋が好き



小附属大愛
論教幹主
菅 洋二

本が好きというより本屋が好きです。休日は必ずといっていいほど本屋に立ち寄りませす。買い物ついでに、待ち合わせに、旅行中にも…。都会にある「ビル一軒丸ごと本屋」もよいのですが、郊外にある大型書店が一番好きです。店頭にずらっと並ぶ新刊と大勢のお客さん、新しいインクのおい。いつも本屋に行く気分が高まります。

すつと移動し、一人分のスペースを空けてくれます。何というチームプレー。互いに目を合わせることはありませんが無言のやさしさを感ぜます。その後、児童書や新刊コーナーを回ります。今では有名な低学年向けの絵本「給食番長」のストーリーの斬新さに驚き、学校の図書室用にリクエストしたこともあります。最後は文房具コーナーです。私は、機能的文具にも目がありません。針の要らないホットキス、こすると消えるボールペンとの出会いも本屋でした。

パソコンを開き、ショッピングサイトでポチッとすれば、数日後には届く便利な世の中になりましたが、新たな発見や感動は本屋にはかきません。偶然の出会いを求め、これからは「ちょっと本屋へ」は続きます。

私設・河童文庫



方伯市今
論教市治
河野ゆかり

教室の隅に間借りする私設「河童文庫」。私が読んだ本を教室に置き忘れたことから始まった。いつしか、生徒たちは自分が読んだ本を私に紹介するようになってきた。

「大三島版・河童文庫」河童文庫が一年間に購入した金額を計算したA君。『バッテリー』のドラマの最後を、自分ならこんなふうにすると言ってくれたK君。二学期から学校図書館の整理を毎日手伝ってくれたM君。

「菊間・今治南版・河童文庫」
「その本、おもしろい？」という一言をきっかけに、往復書簡のように本が行き交う。「本が増え、本棚の隙間が増え、財布の隙間も増え：」という名言を生んだK君。「俺は一冊も本を読み切ったことがない！」と言いつつたY君は、松浦弥太郎氏の本

に、なぜかはまる。

読むのは自由である。私は、自分が読みたくて読んでいるだけである。書店で本を手にしたとき、「この本に、彼は、彼女は食いつくだろうな」そう思うことはある。おもしろいと思つた本は、人に薦めた。生徒に借りた本は、たとえ短くても自分が読んだ感想を伝えたい。そこからつながっていく「和・環・話」があると信じている。

「伯方版・河童文庫」は、始まつたばかり。『水族館発！みんなが知りたい釣り魚の生態』（成山堂）が、伯方での第一走者である。

本とわたし



小島妻市中央
論教市治
三宅 雅人

学生時代は、重松清をはじめ様々な作家の本を読んだものである。しかし、教員として勤務を始めてから、そのよくなゆとりもなかなかも

ず、読書とは離れてしまつていた。新たな本との出会いは、子どもが生まれてからであつた。

私は現在、三児の父親である。今年四歳になる娘が生まれてから、たくさんの絵本を子どもとともに読んできた。絵本には、想像力や感情を豊かにするなど、子どもの発達につながる様々な魅力が凝縮されているように思う。今回は子どもとともに読んできた中で出会つた素敵な絵本をいくつか紹介させてもらおうと思う。

まずは、誰もが知つている「アンパンマン」のシリーズである。やなせたかし先生のかいた絵本が文章・絵ともに温かくてお薦めである。アンパンマンの中には、人への優しさ、友達のよさ、勇気をもつことなど、親として子どもに大事にしてほしいことが詰まつている。

次に紹介するのは、仕掛け絵本である。子どものものと侮るなかれ。大人をも夢中にさせる魅力に溢れている。二歳になる双子の息子たちがは

まっているのが、「くだものさん」という仕掛け絵本である。木の葉をめくると、隠れていた果物が出てくるといもので、息子たちも「なあに」「だあれ」と言いながら楽しんでる。

絵本は、親子の会話にもなる。子育てを通して、素敵な絵本との出会いをこれからも楽しみたいと思う。

舐める・破る・そして読む



小野村市子 西教諭 利奈 石崎

新しい命を授かった十六年前、おなかをさすりながら、何度も思いました。「読書の好きな子になってね。」と……。さて、その後我が家になつて

てきた小さな怪獣ちゃん。本を手にとると、舐める、噛む、破る、舐める、噛む、破る……。この子は本を読むようになるのかな。早くもがっかりしたものです。ところが、この小さな怪獣の出現によって、私の中の固定観念がガラガラと破壊されたのでした。本は、大切に読むもの。そんな考えにしばられていた私は、本のページを破る娘の姿に初めはとまどいました。しかし、幼い娘にとって、本はおもちゃ。そのことに気付いてから、まず、赤ちゃん向けの絵本を、娘の手の届く所に置きました。びりびりに破られたページは、パズルのように貼り合わせたものです。そんな日々も、あつという間に終わりました。子どもたちが小学校に上がるまでは、毎晩二冊ずつの読み聞かせがおやすみ前の日課となりました

祝 受章おめでとつございます

◇瑞宝双光章(高齢者叙勲)

- 山中 久夫様 88歳 元大洲市立栗津小学校校長 大洲市
- 井上 俊一様 88歳 元西条市立国安小学校校長 西条市
- 赤坂 哲夫様 88歳 元宇和町立宇和中学校校長 西予市

た。本を選ぶ姉を真似て、弟も別のお気に入りを持つてきます。同じ本を何日繰り返し読んだことでしょうか。

本破り怪獣だった娘ももう高校生。高校の図書室に日参し、司馬遼太郎作品などを借りてくるので驚きです。中三の息子も、年間百冊読破を目標にしています。私の願いはかなったのかな。

子どもたちのおかげで気付いたこと。それは、本は手の届く所に……。私も必ずバッグに一冊。

心の中の小さな世界



小高市松山 教頭 哲也 近藤

PTA新聞か何かで、「お勧めの本の紹介」として、こんなことを書きました。

「もちの木を探しにきたばくは、三角形の平地を見つけました。小さな泉がわき、真っ赤な椿のさく、どこか不思議な感じのする場所だった……。そ

して、とうとうぼくは見た。小川に流れていくくつの中で動いているものを。

小さな小さな人と、あつたかい心をもった大きな人との心温まる素敵なふれあいを描いた作品です。素敵な世界に浸ってみませんか。いい気分になれますよ。」

これは『だれも知らない小さな国』という本の紹介です。この物語の中心になるものは、人がそれぞれの心の中にもっている小さな世界です。人は誰でも、心の中にその人だけの世界をもっています。

その世界は、他人が外から覗いたくらいでは分からない、その人だけのものです。そういう自分だけの世界を、正しく明るく辛抱強く育てていくことの尊さを、作者は訴えています。心の中の自分だけの世界を大切に育てていくことと同時に、誰にでも自分だけの世界があることを知ってほしい、それを大切にしてほしいという作者からのメッセージを受け取った気がします。十歳頃に読んだ本を、四十年程の歳月を経て読み返して

みました。自分の心の中の小さな世界は、まだ小さなままのようです。しかし、改めて読んだことで、十歳では分かんかったことに気付くことができました。



俳画・水墨画教室 佐野 妙子 作

愛媛マラソン
2016.2.7 開催

参加される教職員の方に Tシャツを進呈しています。

詳しくは下記までお問い合わせください。

教育振興事業
 共済事業
 福祉事業
 奨学事業
 教育研究助成事業
 教育文化事業
 (提携保険事業)

公益財団法人 **日本教育公務員弘済会愛媛支部**
 〒790-8545 愛媛県松山市祝台町1-5-33 エスポワール愛媛文教会館内
 TEL(089)932-8358 FAX(089)932-8357

平成二十七年 九十九歳・八十歳慶祝者

傘寿おめでとうございます。記念品と御祝詞をお贈りしました。ますますの御健康と御多幸をお祈りいたします。

《九十九歳慶祝者》(五名)

東予周桑教育会 曾我 カル様 武田ヒデ子様 青野 陽一様

松山市教育会 野村 昭子様 工藤キヨ子様 越智 正雄様 野村 東生様

一色 邦利様 岡田 章敬様 渡部 治江様 今治・越智教育会(二五名)

伊予教育会 向井イソカ様 福榎アヤ子様 白石 芳子様 青野 久子様

《八十歳慶祝者》(二七九名) 汐崎 壬子様 益田 好章様

四国中央教育会(八名) 渡邊 勝様 宇高 貢様

大西 宮子様 後藤 雅昭様 渡部 淳憲様 河上 司様

服部 孝海様 三宅 健二様 橘 淳治様 田窪多美子様

真鍋 孝吉様 寺尾 定様 越智 正人様 池上 文都様

木下 淳様 守谷 秋子様 千村 孝明様 村上 哲郎様

新居浜教育会(一四名) 桧垣 久雄様 杉野千寿子様

山本 尹子様 白石 淑子様 光永 泰啓様 渡部 弘子様

香出只三郎様 森本 洋様 近藤 千秋様 工藤 保様

岡野 芳様 鈴木 昭美様 渡邊 喬二様 松田 政留様

中尾 貢様 加地三千恵様 古川三和子様 金子 敏雄様

真鍋 生齊様 神野 敦子様 赤尾 卓様 松山市教育会(四七名)

近藤 和子様 坂本 靖子様 京口 妙子様 永井 保雄様

薦田 岳雪様 白旗 久道様 山口 雄三様 三浦 誓淳様

西条教育会(五名) 石田 清様 藤田 京子様 高橋 研一様 清水 弘子様

鳥山 亮介様 川上 義一様 岡崎 邦夫様 平松 則重様

白石 玉樹様 岡部 叙様 清水 令子様

東予周桑教育会(九名) 佐伯 雅弘様 三村 哲雄様 森 重子様 稲田 彌生様

北岡 杉雄様 三好 靖子様

森 重子様 稲田 彌生様

竹野 皆江様 大原 義謙様 友澤 篤子様 神野 弘良様

森山 純一様 渡部 修治様 上浮穴教育会(二名) 宇都宮悦子様 山田喜美江様

大倉 可貴様 柏井 正子様 大洲市教育会(九名) 辻 喜千治様 濱田 長男様

武智 満様 山内 浩様 西尾 俊二様 山田 幸一様

大政 恭子様 井上 演子様 大塚 裕子様 二宮 昭廣様 河野 明美様 上甲 和子様 宮内 奨様 岡田タカ子様 高田 信之様

松原 隆様 山田 和美様 土居 泰正様 菊池 久典様 北宇和教育会(三名) 河野 登美様 河添 稔様

泉 妙子様 塩谷 弘子様 後藤 和子様 日根ヤエ子様 南宇和教育会(六名) 赤樫 修様 原田 常賀様

岡本 恭子様 坂井 弘様 河野 妙子様 岡田 泰様 清水 利康様 河上 雅昭様

北尾 義次様 石丸 博子様 佐々木信之様 二宮 頼子様 井上ミヨコ様 武久 實様

河合 準様 東温市教育会(四名) 佐藤ハルヨ様 清水 悦子様

和田 睦夫様 桑原 佳彦様 土居 清人様 楠 聰様

中上 正美様 中島 博文様 土居 静様 小林八千代様

伊予教育会(一〇名) 岩倉 泰子様 長 満可様 大塚 武夫様 関岡 千秋様

向井 恒雄様 日野 恵子様 清水 輝孝様 西川 保徳様

文教俳句

一俳句ポストより

主のなき民家の庭に秋の蝶 一体み見上げた空にうろこ雲 爽やかや帽子をとって会釈の児 千枚田の畔に沿い咲く彼岸花

西条市 高橋 和 西条市 高橋 和 松山市 姫野だるま 内子町 小野植元幸



クリーニング 株式会社 清水屋

竹原工場 松山市竹原3丁目13-11 (〒790-0053) 電話(089)941-7388(代) 高井工場 松山市南高井1701 (〒791-1112) 電話(089)976-1511(代) 村洲工場 松山市中村1丁目3-52 (〒790-0964) 電話(089)941-8593 大今工場 大洲市徳森字小島越1254 (〒795-0061) 電話(0893)25-5971 大今工場 今治市山路456-1 (〒794-0072) 電話(0898)24-2455 大今工場 松山市南高井1701 (〒791-1112) 電話(089)976-6688 大今工場 東温市吉久311-1 (〒791-0302) 電話(089)966-6866 大今工場 東温市田窪41-12 (〒791-0212) 電話(089)955-1570

教育会会員による 学習支援 その②

課題学習補助事業

「夏休みの活動」

今治・越智教育会

会長 尾上 眞一

一 概要

平成十八年、今治市教育委員会教育長、中央図書館から、夏休みの児童・生徒の課題学習について指導や助言をしてくれる団体や組織はないだろうかという相談依頼があった。夏休みになると、図書館を利用して学習に励む児童・生徒が多いという現状もあり、教育会で支援することになり、現職会員とOB会員の連携で取り組むことにした。

当初は、七月と八月にそれぞれ三日間。延べ現職九名、OB二十七名がこのボランティア活動に参加した。保護者、児童・生徒の参加は、全体説明会に四六名、個別相談会に延べ七十名であった。

その後、平成二四年度からは波方・大西・大三島図書館での相談活動を追加し、補助事業を実施している。昨年は全体説明会に八六

名、個別相談会に二九七名が参加し、延べ六三名のボランティアが指導に当たった。「読書感想文」「理科研究」「社会科研究」「図画工作」等の課題別に分かれ、児童・生徒及び同伴の保護者の希望に応じて個別指導を行った。

二 課題学習補助活動の取組

左表のとおり、課題別の割り当て時間表を参加者に配布した。こうすることで、児童・生徒は、見通しを持って、課題学習に参加することができるのである。

三 成果

この事業を始めて、今年で十年目になった。毎年好評で、参加者も年々増えている。参加した児童・生徒や保護者からの感想を紹介したい。今まで分からないことがよく分かるようになりました。とっても役にたったから来年も行きたいです。(児童)

一年生の娘に、読書感想文の書き方を分かりやすく話してくださって、とても参考になった。自由研究も、いろいろと提案してくださったので勉強になった。(保護者)

一人ずつゆっくり見てアドバイスをいただけるのととてもありがたいです。(保護者)

県外の子供でも見ていただき、感謝している。(保護者) さすが図書館。司書との連携で、欲しい資料がすぐ届きコピーも可能。指導する私は心強く、子どもたちも満足していたようです。(OB)

自由研究に取り組む女の子。簡潔にメモをとる男の子。感想文に挑む親子。最初、不安だったが、子どもたちに会えて幸せでした。(OB) 今後も、社会に貢献する教

平成26年度 課題学習補助活動

今治市立中央図書館

時間		7月23日(水)	7月25日(金)	7月28日(月)	7月30日(水)	7月31日(木)	8月1日(金)
10:00	読書感想文		国語①	国語⑦	国語①	国語⑦	国語③
	読書感想文		国語②	国語⑧	国語②	国語⑧	国語④
	読書感想文			国語⑥	国語⑥		国語⑤
12:30	社会						
	理科		理科①	理科③	理科⑤	理科⑦	理科⑨
	図工		図工①			図工③	
		全体説明会					
13:30	読書感想文	藤田 晋司	国語③	国語⑨	国語③	国語⑨	国語⑤
	読書感想文		国語④	国語⑩	国語④	国語⑩	国語⑥
	読書感想文		国語⑤		国語⑧	国語②	国語⑦
16:00	社会	森田 啓二					
	理科	村上 圭司	理科②	理科④	理科⑥	理科⑧	理科⑩
	図工			図工②			
			8名	8名	8名	8名	8名

平成26年度 課題学習補助活動

時間	図書館名	波方		大西		大三島	
		7月24日(水)	7月29日(火)	7月24日(水)	7月29日(火)	7月24日(水)	7月29日(火)
10:00	読書感想文	国語⑧	国語⑩	国語⑥	国語③		
12:30	理科	理科①	理科③	理科⑤	理科⑦		
13:30	読書感想文	国語⑧	国語⑩	国語③	国語⑤	国語⑩	国語⑤
16:00	理科	理科②	理科④	理科⑥	理科⑧	理科⑩	理科⑩
		4名	4名	4名	4名	2名	2名

読書感想文 藤田晋司日吉小校長

本日は、夏休みの宿題「読書感想文」について、保護者の皆様へお話をさせていただきます。読書感想文は、読んだ本の感想や、自分自身の考えを表現するものです。子どもたちが、読んだ本から学び、自分の考えを表現できるように、保護者の皆様からご協力をお願いします。

体験や生活重ねて書く

読書感想文を書くときは、読んだ本の内容や、自分自身の体験や生活を重ねて書くことが大切です。子どもたちが、読んだ本から学び、自分の考えを表現できるように、保護者の皆様からご協力をお願いします。

読書感想文や自由研究のヒントを教えてください
子どもたちへ、今治市立中央図書館で



夏休みの宿題 ヒント教えて

持ち帰った夏休み、海や山に遊び出し楽しく過ごしている、保護者ならではの学校の宿題。どうせやらなきゃいけないのなら、ワクワクしながら取り組みたい。そんな小学生に親の経験が役立つ

今治で現職先生が「教室」

教える「夏休み・自由研究/読書感想文 しらべかた/かきかた教室」がこのほど、今治市東福町5丁目市立中央図書館で開催された。楽しい作品を作るヒント、教えて先生!

身近なことから題材

読書感想文を書くときは、身近なことから題材を選ぶことが大切です。子どもたちが、身近なことから学び、自分の考えを表現できるように、保護者の皆様からご協力をお願いします。

自由研究 村上圭司日吉小校長

自由研究は、子どもたちが興味のあるテーマを選び、自分で調べ、実験や観察を行うことです。保護者の皆様からご協力をお願いします。

実験は条件そろえよう

自由研究を行うときは、実験の条件をそろえることが大切です。子どもたちが、実験を通して学び、自分の考えを表現できるように、保護者の皆様からご協力をお願いします。



育会として、課題学習補助事業の円滑な運営に努めていきたい。

